

2010年2月24日

国立大学法人徳島大学長  
青野 敏博殿

徳島大学教職員労働組合  
中央執行委員長 中嶋 信

## 「春闘」にかかわる要求について

拝啓

日々、徳島大学の発展のためにご尽力のことと拝察いたします。

徳島大学教職員労働組合は、大学が良質な教育を提供し、優れた研究成果をあげるためには、労働者が安心して働くことのできる職場環境が不可欠であるという立場で2010年春闘に取り組んでいます。デフレ・不況の世相ですが、そうした厳しい経済状況を改善していくためには、労働者の雇用が安定し、賃金の改善や休暇の完全取得による内需拡大が必要であると思われまます。最近はとくに、非常勤職員など立場の弱い方を支援していくことが社会的使命として労働組合に求められています。もちろんこれは労働組合だけの問題でなく、日本全体の課題であり、したがって徳島大学の課題でもあります。

つきましては、「春闘」の時期に合わせて、下記の件を要求します。よろしくお取りはからいください。回答はおおむね2週間以内をお願いいたします。

ご多忙の折、ご自愛くださいますよう。

敬具

記

- 1) 可及的速やかに、教職員の賃金を引き下げ前の水準以上に引き上げること（賃金のベースアップ）。
- 2) 4月の有期雇用職員の契約更新に際し、平成21年8月の人事院勧告準拠による時給引き下げを行わず、むしろ賃上げすること。
- 3) 有期雇用職員のいわゆる「雇い止め」を今後行わないこと。
- 4) 有期雇用職員にも、病欠・忌引きの制度を導入すること。
- 5) 蔵本地区の駐車料金が他事業所に比べて高すぎて不公平なので、蔵本地区の自動車通勤者の通勤手当に月当たり2,000円の駐車料金相当額を上乗せすること。

以上